

# 生活科の実践

札幌市

家族の中の自分の役割を考える！

生活科

## みんなだいすき

2年

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>  
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

### 単元の概要 と 単元構成

内容(2)(8)(9)に関連する単元です。お手伝い名人を目指すということだけでなく、「そのような年齢になったんだよ」「幼稚園とは違うんだね」といた自尊心を育てることを大切にしていきました。家族における自分の役割を理解した上で、「自分のことは自分で」ということに気付き、実行できることが自立への基礎を養うことにつながります。

### 学習活動の流れ (13時間)

「忍者」という設定で、こっそり見てきたことや顔の表情などもメモさせていきます。

#### 忍者になって、家族の家での仕事を見つけよう(2)

- ・料理・洗濯・掃除・庭仕事……
- ・家の仕事はたくさんある！
- ・自分たちもできるかなあ

どのような意図でこの活動をしているのかを共通理解するため、家庭への協力を依頼します。

#### 家族の仕事体験大作戦(9)

- ・クラスみんなでおむすび大会(3)
- ・お家の人と作ってみよう(2)
- ・お家の仕事に1週間挑戦だ(4)

～自分パワーアップ大作戦開始！(家庭で)～

家族から「お願い」を書いた手紙をもらい、自分をパワーアップさせるきっかけにしました。

手紙を書くことで、自分の誓いや家族との約束ができました。

#### 自分パワーアップ大作戦報告会をしよう(2)

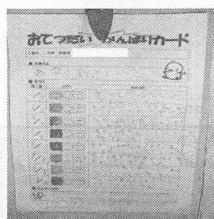
- ・お家の人に手紙を書こう

お手伝いを通じ、家族とふれあいを深めていくということは、とても大切なことです。生活科のねらいの一つである、思い、願いをふくらませることを加え、活動をパワーアップさせていきました。



どんな仕事があったの？

## 教材・活動の Point!



### 1. 学校と家庭をカードでつなげる

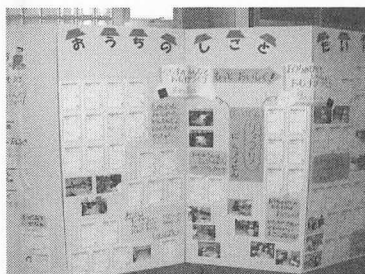
家族単元の活動は、家庭に任せる部分が多くなってしまいます。そこで、家庭での活動を見取る手立てとしてカードを用意し、「おうちの仕事」に対する振り返りを学校で記入させていきました。それをもとに、子どもの意識を見取り、即時的にかかわることができます。

### 2. 共通体験におむすびづくりを

「おむすびづくり」は、どの子ども楽しんでできる活動で、形、大きさ、にぎり加減など適度な難しさあります。1回目は子どもたちだけで、2回目はお家の人と作りました。こつを教えてもらったり、ほめてもらったりして、お家の人と一緒にすると楽しいことを実感できました。友達と比べ考えることの土台にもなります。



### 3. かかわりを生み出す環境構成



個々の活動が多くなるので、おてつだいがんばりカードを常に掲示しておき、「他の仕事に興味を広げる」「友達のよさを取り入れる」「意欲の持続」といった思いや願いを引き出すようにかかわっていきました。友達とのかかわりを生み出すのに有効な手立てになりました。